

天吊金具

PMT-L71 (低天井用)

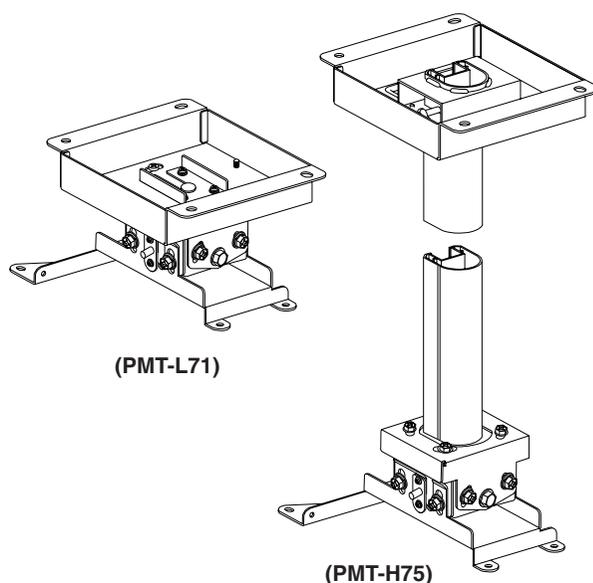
PMT-H75 (高天井用)

設置調整説明書

ご使用前に必ずお読みください。

ヤマハ天吊金具PMT-L71/PMT-H75をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくためにも、ご使用前にこの設置調整説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品を使用してプロジェクターの取り付けを行う際は専門の工事業者または販売店にご依頼ください。お客様による工事は、絶対にしないでください。



目次

安全上のご注意	2
同梱部品一覧	4
各部の名称	5
各部の寸法	7
スクリーンサイズと設置距離	8
取り付け例	11
プロジェクターの取り付けかた	13
投写角度調整のしかた	16
仕様	18
ヤマハホットラインサービスネットワーク	19

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。



してはいけない行為を表しています。



必ずしなければならない行為を表しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

本製品を使用してプロジェクターを設置する際は、必ず本書に基づいて行う。

誤った設置や不十分な取り付けはプロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付ける際はプロジェクターおよび天吊金具などの総合自重に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行う。

不十分な取り付けを行なった場合、プロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

安全確保のため、ボルトおよびネジ類は確実に締めつける。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付けに使う部品は必ず同梱された部品や指定された部品(市販品)を使用する。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。



禁止

本製品を改造して使用しない。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

こわれた部品を使用しない。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。
万一、部品がこわれた場合は販売店にご相談ください。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

設置するときは周囲から十分な間隔をあける。

十分な間隔をあけないとプロジェクター内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



必ず行う

ランプカートリッジを交換するときは必ず天井固定金具からプロジェクター(取り付けアダプターがついた状態)を取り外して行う。

そのまま交換すると天吊金具やプロジェクターが落下してけがをする原因となることがあります。



禁止

プロジェクターおよび天吊金具にぶら下らない。

プロジェクターや天吊金具が落下してけがをする原因となることがあります。



禁止

冷暖房の吐き出し口や振動の多い場所に設置しない。

プロジェクターに悪影響が生じて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

プロジェクター内部にほこりが堆積することによりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなるまたは低くなる場所(冷暖房機のそばなど)に設置しない。

変形したり、外装が変色する原因となることがあります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。

外装が傷んだりすることがあります。



禁止

お客様による天吊工事は一切行わないでください。(工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。)

不十分な取り付けは天吊金具やプロジェクターが落下してけがをする原因となることがあります。



注意

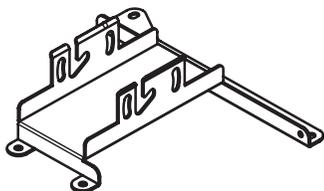
取り付け後は、定期的に安全点検をする。

長期間使用すると経年変化や振動等により、ネジがゆるんだり、取り付け強度が低下することがあります。

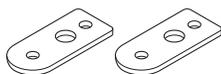
同梱部品一覧

同梱部品をご確認ください。共通部品(両方に一組ずつ同梱されています。)

プロジェクター取り付けアダプター × 1個



安全金具 × 2個



落下防止用ワイヤー × 2本



プロジェクター取り付けネジ(M6、ナベ) × 4本

落下防止用ワイヤー取り付けネジ(M6、ナベ) × 4本



上下角度調節ネジ(M6、六角頭) × 4本



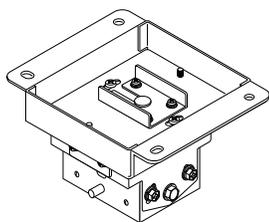
安全金具取り付けネジ(M4、ナベ) × 4本



設置調整説明書 × 1冊

PMT-L71

天井固定金具 × 1個

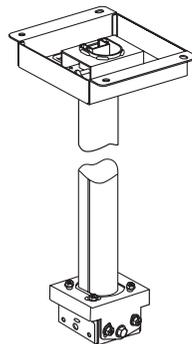


天井固定金具用落下防止ワイヤー 500mm × 1



PMT-H75

天井固定金具 × 1個



天井固定金具用落下防止ワイヤー 700mm × 1



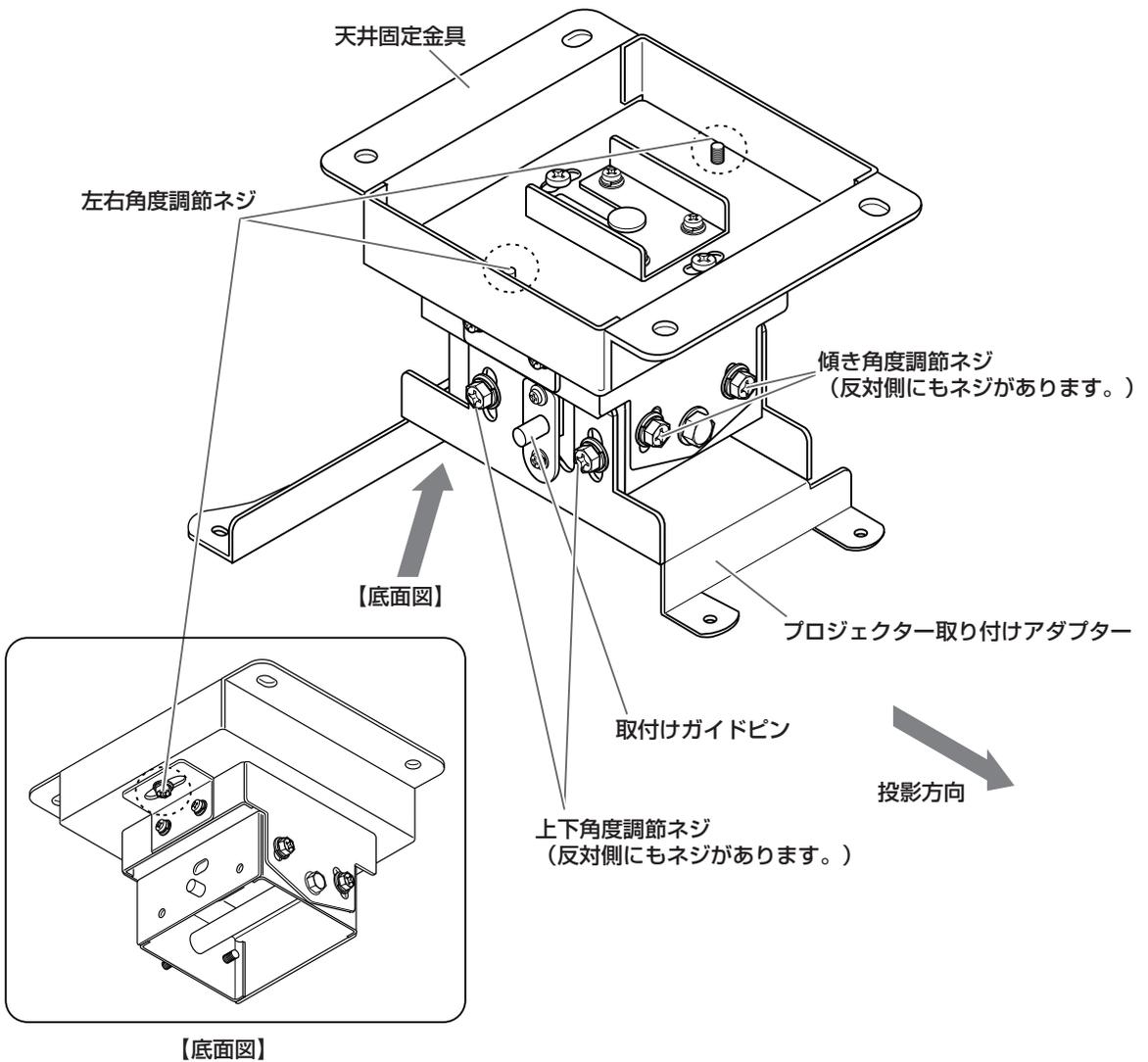
ケーブルカバー
(インナー) × 2

(アウター) × 2



各部の名称

PMT-L71



【背面図】

【正面図】

天井固定金具

アウターケーブルカバー

高さ固定ネジ

インナーケーブルカバー

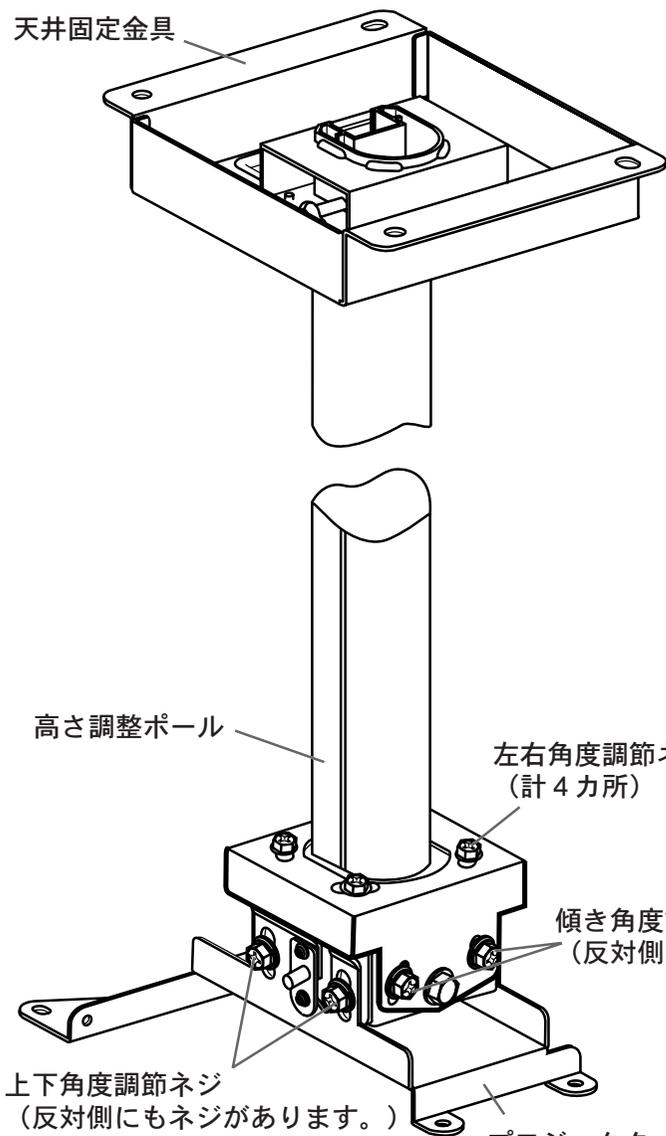
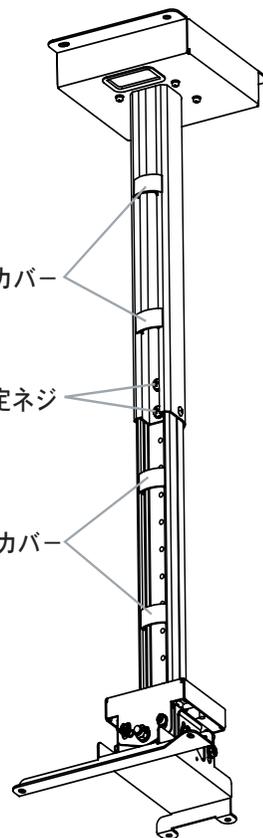
高さ調整ポール

左右角度調節ネジ
(計4カ所)

傾き角度調節ネジ
(反対側にもネジがあります。)

上下角度調節ネジ
(反対側にもネジがあります。)

プロジェクター取り付けアダプター



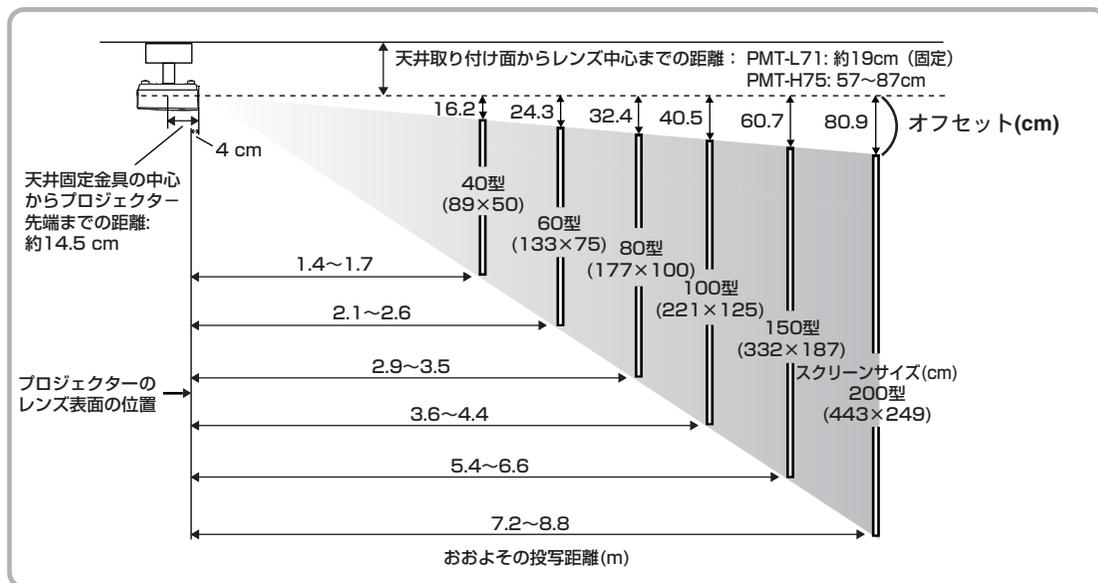
スクリーンサイズと設置距離

プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離により投写画面のサイズが異なります。また、投写条件により距離や寸法が変わる場合があります。スクリーンサイズと設置距離の詳細はプロジェクターの取扱説明書を参照してください。

下表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるように設置してください。

スクリーンサイズ (cm)	投写距離 (m) DPX-530 取り付け時	投写距離 (m) DPX-830 取り付け時
40型 (89 x 50)	1.4 ~ 1.7	1.4 ~ 1.7
60型 (133 x 75)	2.1 ~ 2.6	2.2 ~ 2.6
80型 (177 x 100)	2.9 ~ 3.5	2.9 ~ 3.5
100型 (221 x 125)	3.6 ~ 4.4	3.6 ~ 4.4
150型 (332 x 187)	5.4 ~ 6.6	5.5 ~ 6.6
200型 (443 x 249)	7.2 ~ 8.8	7.3 ~ 8.9

例:DPX-530取り付け時



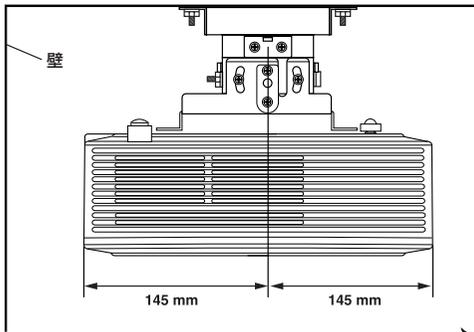
メモ

- 投写距離はプロジェクターレンズ表面からスクリーン表面までの水平距離です。DPX-530またはDPX-830の場合、レンズ表面は外装から約4cm奥に入っています。
- 天吊金具は上下に最大±15°の範囲で角度調整ができますが、角度を大きくとりすぎると、映像が多少歪みますので、スクリーンの角度もあわせて調整することをおすすめします。
- DPX-530またはDPX-830のレンズは約1.2倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.2倍のサイズで投写できます。
- 台形補正すると、画面サイズは小さくなります。

天吊金具の設置位置

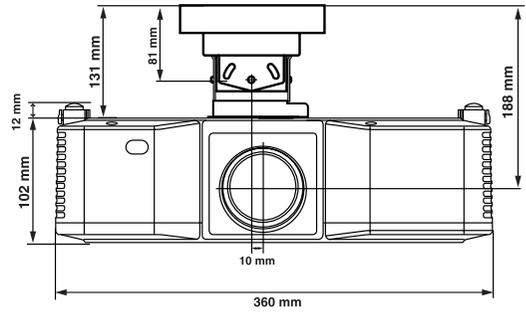
レンズの中心をスクリーンの左右方向の中心に合わせて設置します。

PMT-L71 側面図

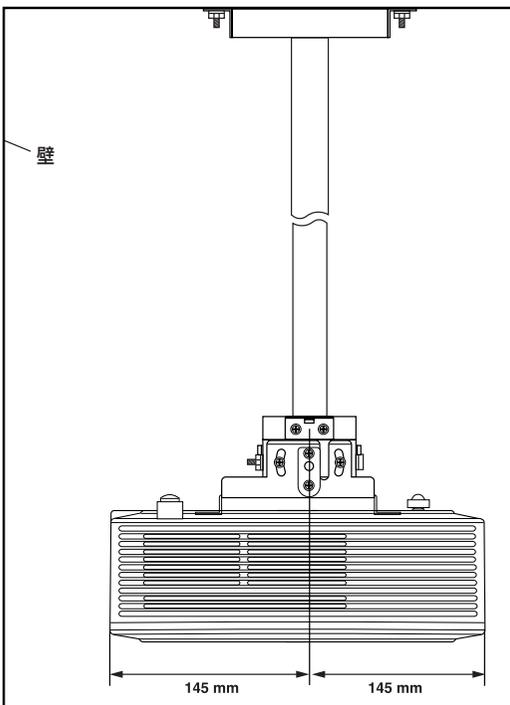


→
投影方向

PMT-L71 正面図

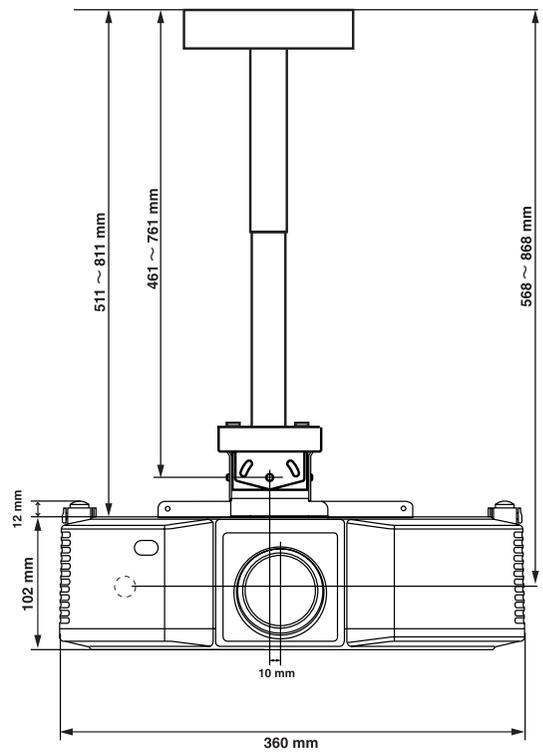


PMT-H75 側面図



→
投影方向

PMT-H75 正面図



PMT-H75の高さ調整とケーブルカバーの取り付け

PMT-H75の高さ調整ポールには3cm間隔でネジ穴があいており、高さを調節できます。出荷状態では、最短になっていますので、下記の『調整手順』に従って、適切な高さに調整してください。
高さについては、8ページ『スクリーンサイズと設置距離』を参照してください。

【調整手順】

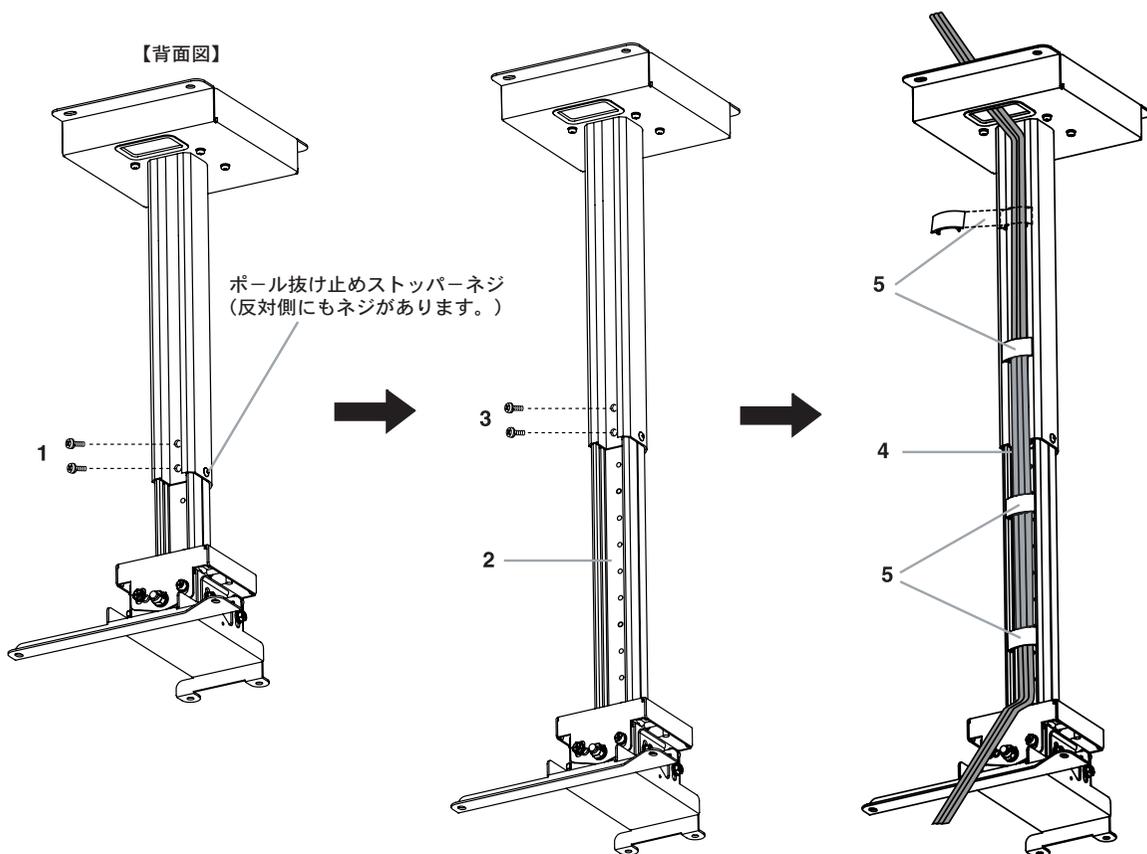
① 高さ固定ネジ(M6ナベ)を外します。

ご注意

- 高さ固定ネジを抜くと、天井固定金具と高さ調整ポールの固定がゆるみます。高さ調整を行う際は、必ず高さ調整ポールに手を添えて作業を行ってください。
- ② スクリーンの高さに合わせて、下側のポールの位置を決定します。
- ③ 高さ固定ネジ2本(M6ナベ)をネジ穴に通し、しっかりと締め付けます。
- ④ ポールのシャフト(くぼんだ部分)にケーブルを配線します。
- ⑤ シャフトにケーブルカバーを取り付け、ケーブルを固定します。
インナーケーブルカバーのフックの間隔はアウターケーブルカバーのフックの間隔よりも広がっています。適切なケーブルカバーを高さ調整ポールに取り付けてください。

ご注意

- 高さ調整後、調整ポール固定ネジがしっかり締まっていることをご確認ください。
- ポール抜け止めストッパーネジを外さないでください。インナーポールが外れて落下し、けがをする恐れがあります。



取り付け例

ご注意

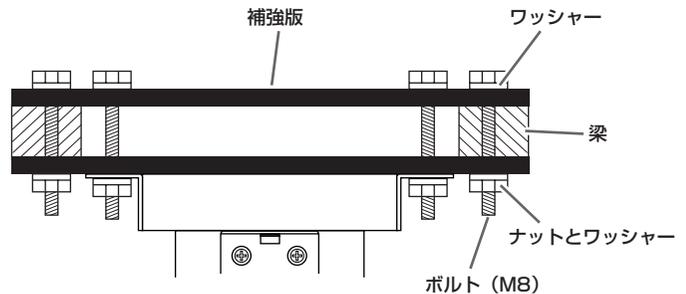
- 本製品を使用してプロジェクターの取り付けを行う際は、専門の業者または販売店にご依頼ください。お客様による工事は、一切行わないでください。

天井が木造の場合

- ① 補強板および天井面に寸法通りに穴をあけ、ボルトを通します。
- ② ボルトを締めて補強板と梁を固定します。

ご注意

- 補強板は、本体および天吊金具の荷重に十分耐えるものを使用してください。
- ボルトはM8(市販品)を使用してください。



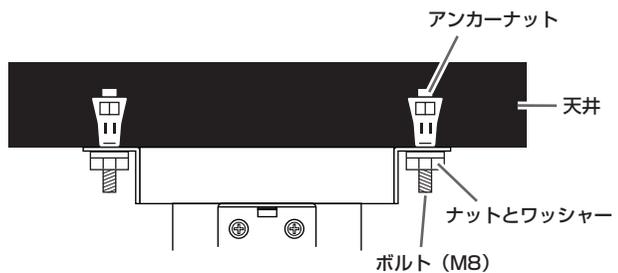
(補強板、ボルト、ナットおよびワッシャーは市販品をお求めください。)

天井がコンクリートの場合

- ① アンカーナットを天井へ打ち込みます。
- ② ボルトをアンカーナットへねじ込みます。

ご注意

- アンカーナットは、本体および天吊金具の荷重に十分耐えるものを使用してください。
- ボルトはM8(市販品)を使用してください。



(アンカーナット、ボルト、ナットおよびワッシャーは市販品をお求めください。)

天井固定金具用落下防止ワイヤーの取り付け

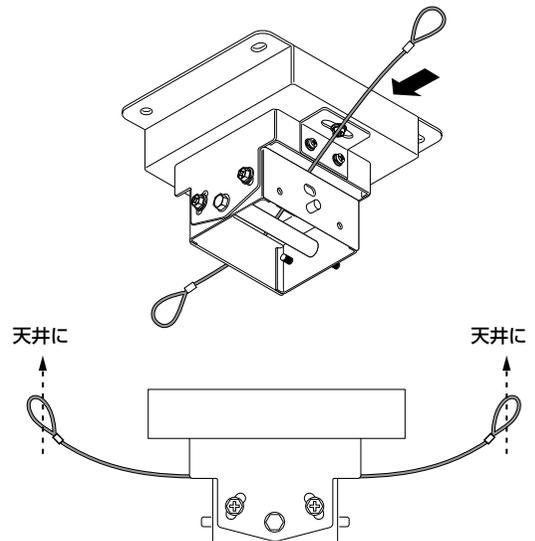
天井固定金具とプロジェクターが天井から落下するのを防ぐために、必ず天井固定金具用落下防止ワイヤーを取り付けてください。

PMT-L71

- ① 天井固定金具の両側面の開口部に天井固定金具用落下防止ワイヤーを通します。
- ② 天井固定金具用落下防止ワイヤーの両端を天井に定着させます。

ご注意

- プロジェクターと天吊り金具の重さを支えるために、天井と取り付けに使用する金具は強度が充分であることを確認してください。

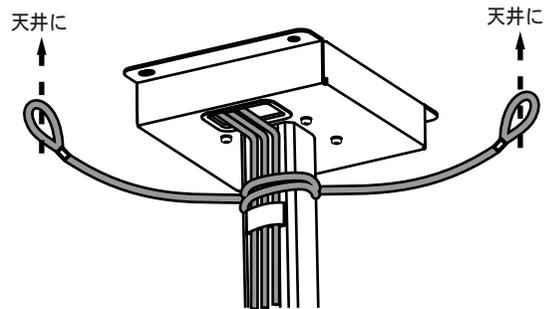


PMT-H75

- ① 右図のように、天井固定金具用落下防止ワイヤーをポールに巻きつけます。
- ② 天井固定金具用落下防止ワイヤーの両端を天井に定着させます。

ご注意

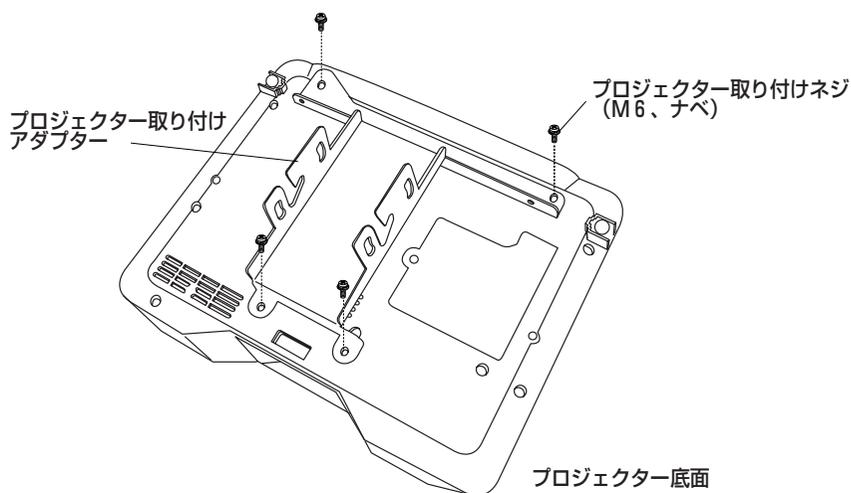
- プロジェクターと天吊り金具の重さを支えるために、天井と取り付けに使用する金具は強度が充分であることを確認してください。



プロジェクターの取り付けかた

1 プロジェクター取り付けアダプターをプロジェクターに取り付ける

プロジェクター底面の穴に取り付けアダプターを合わせるように置き、付属のプロジェクター取り付けネジ(M6、ナベ)4本でしっかり締めつけます。

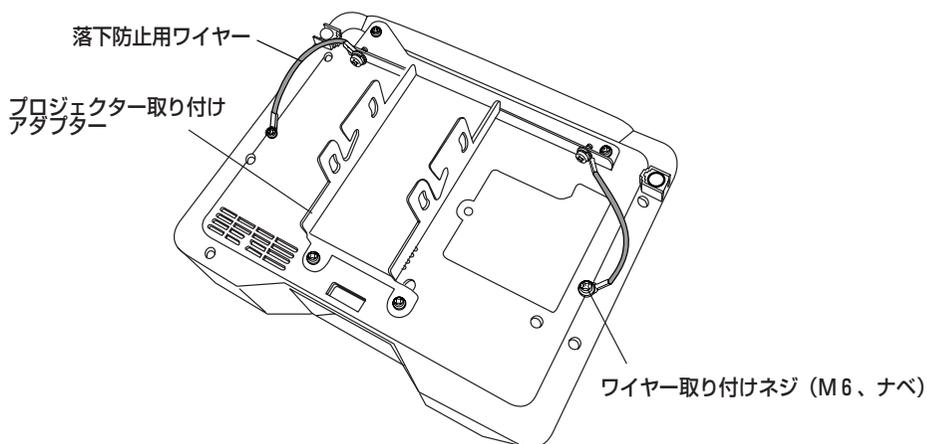


ご注意

- プロジェクター取り付けネジは締めつけすぎないようにしてください。締めつけすぎると取り付け部分が破損し、プロジェクターが落下する恐れがあります。

2 落下防止用ワイヤーを取り付ける

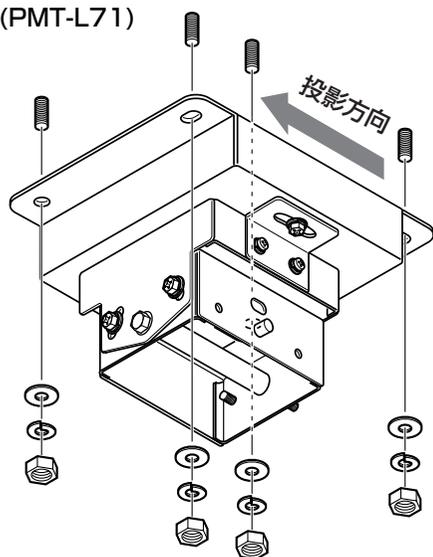
プロジェクター取り付けアダプターと落下防止用ワイヤーを付属の落下防止用ワイヤー取り付けネジ(M6、ナベ)4本でしっかり締めつけます(プロジェクター背面側の左右2カ所ずつ)。



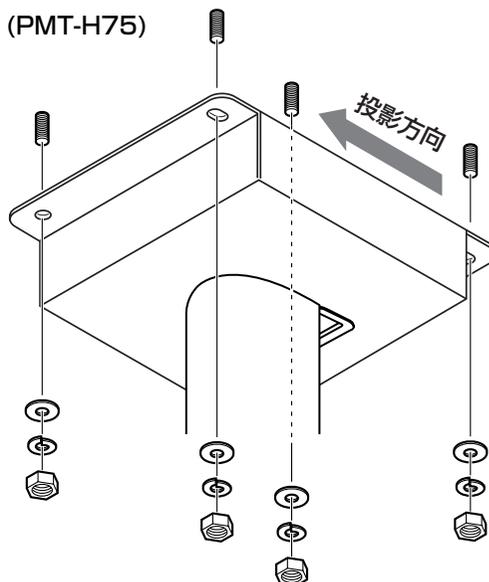
3 天井固定金具を天井に取り付ける

はじめにナット4カ所を仮締めし、位置決めを行った後、しっかり締めつけます。

(PMT-L71)



(PMT-H75)



ご注意

- 天井固定金具の取り付けはM8ボルト(市販品)を使用してください。M8以外のボルトを使用するとプロジェクターが落下する恐れがあります。

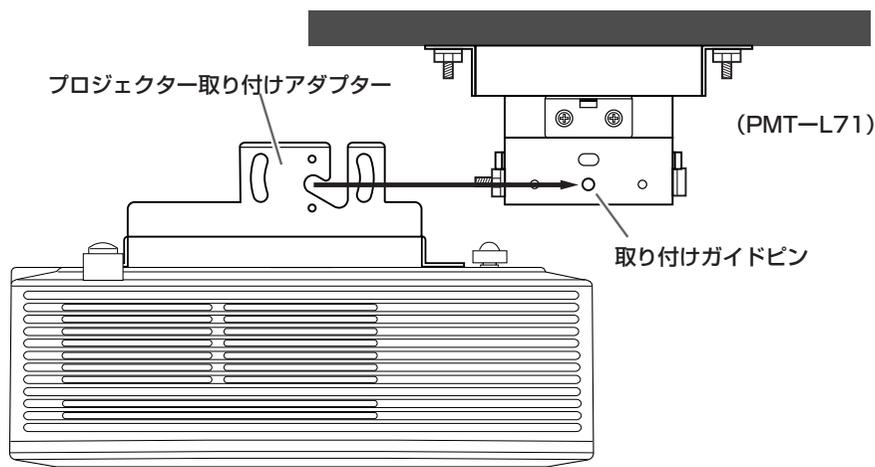
ご販売店様、工事店様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度には、プロジェクター本体および天吊金具等の荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。

4 天井固定金具にプロジェクターをつり下げる

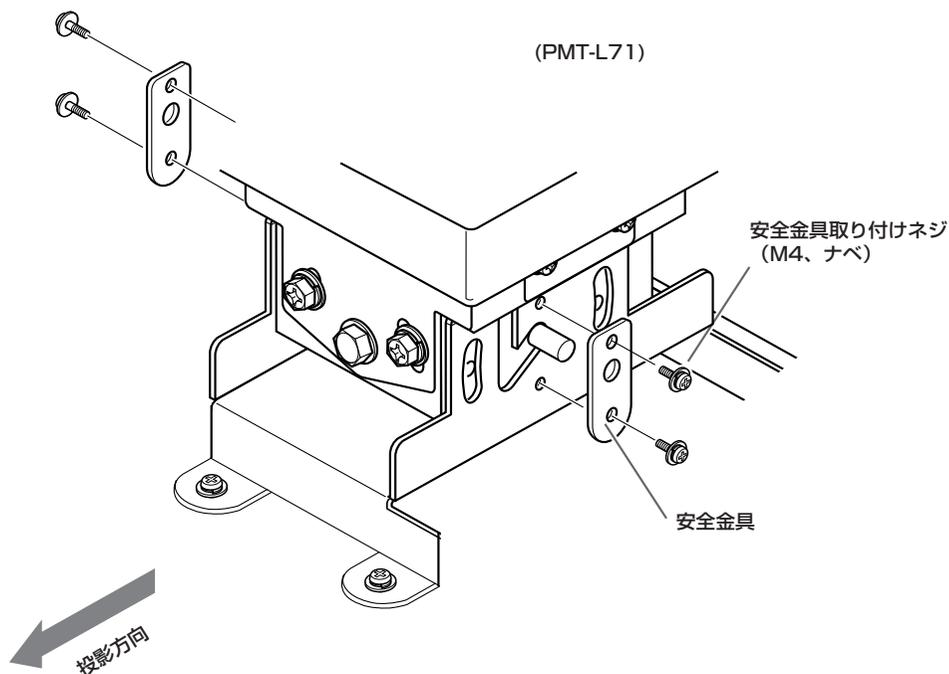
天井固定金具の取り付けガイドピンにプロジェクター取り付けアダプターの溝をスライドさせて奥まで入れます。

この状態は一時的につり下げるため、固定されていませんので、落下しないように注意してください。



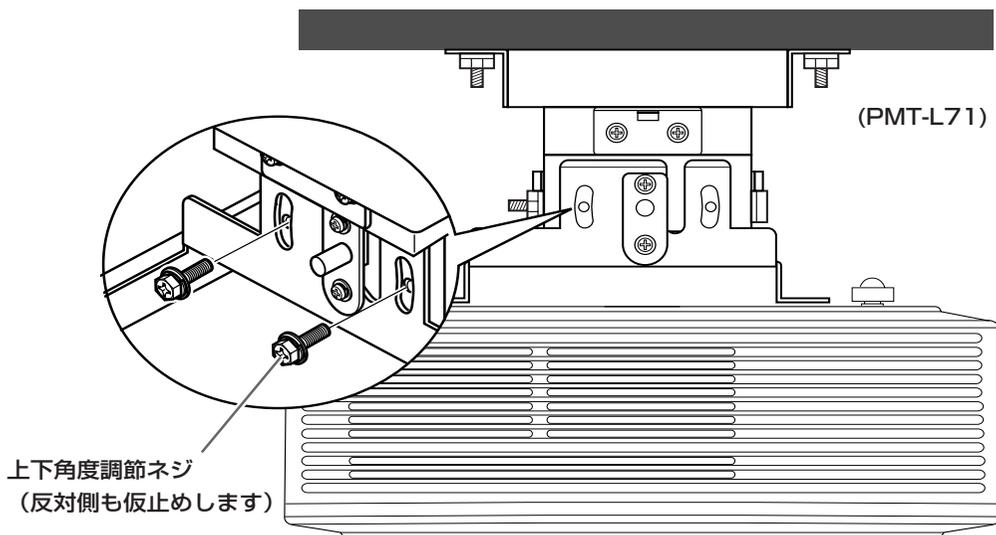
5 安全金具を取り付ける

天井固定金具の取り付けガイドピンと穴に安全金具を合わせるようにはめこみ、付属の安全金具取り付けネジ(M4、ナベ)4本でしっかり締めつけます(左右2カ所ずつ)。



6 プロジェクター取り付けアダプターを仮止めする

付属の上下角度調整ネジ(M6、六角頭)4本で仮止めします(左右2カ所ずつ)。



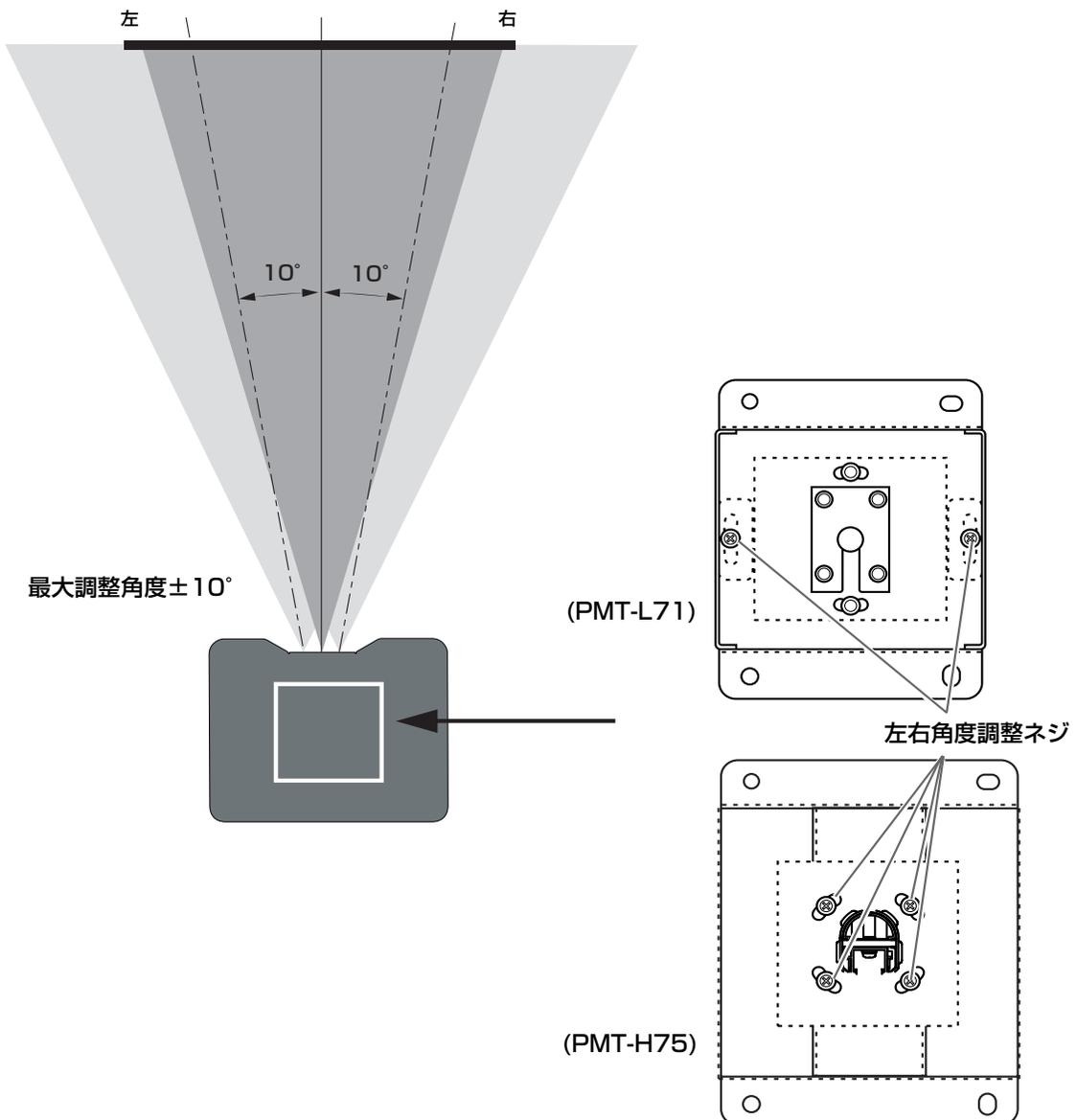
投写角度調整のしかた

調整の前に

- プロジェクターの取扱説明書に従い電源を入れ、映像を映してください。
- プロジェクターのメニューにて、設置状態の設定を行ってください。設定内容の詳細はプロジェクターの取扱説明書を参照してください。
- ズームで投写サイズを仮決めしてから、角度調整を行ってください。

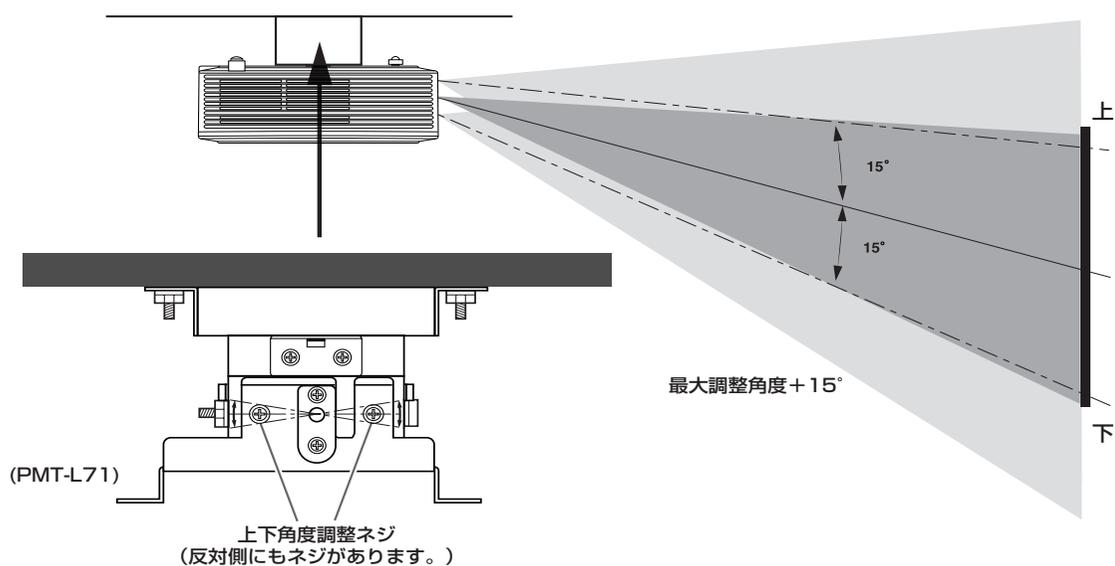
1 左右角度の調整をする

映像がスクリーンの左右中心に投射されるように合わせ、左右角度調整ネジ(PMT-L71の場合は2本、PMT-H75の場合は4本)をしっかり締めつけます。



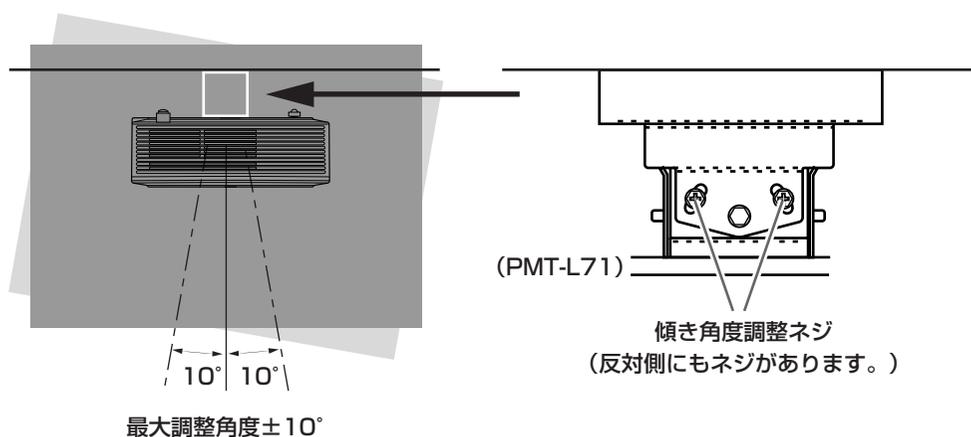
2 上下角度の調整をする

映像がスクリーンの上下中心に投写されるように合わせ、上下角度調整ネジ(4本)をしっかり締めつけます。



3 傾き角度の調整をする

映像がスクリーンに対して傾かないように合わせ、傾き角度調整ネジ(4本)をしっかり締めつけます。



調整が合わないときは1から調整しなおしてください。

調整後は、しっかり固定されていることを確認してください。

仕様

品名		天吊金具	
型番		PMT-L71	PMT-H75
調整幅	高さ	131mm (固定)	511~811mm (可変: 30 mm間隔)
	上下角度	±15°	±15°
	左右角度	±10°	±10°
	傾き角度	±10°	±10°
天井固定金具外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)		156 × 196 × 94 mm	180 × 246 × 511~811 mm (高さ可変: 30 mm可変)
アダプター外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)		263 × 239.5 × 72 mm	
質量		2.5 kg	4.1 kg

* 仕様、外観および記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-01-1808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-01-2808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)

受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラクターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1



© 2006 YAMAHA CORPORATION All rights reserved.

YAMAHA ELECTRONICS CORPORATION, USA 6660 ORANGETHORPE AVE., BUENA PARK, CALIF. 90620, U.S.A.
YAMAHA CANADA MUSIC LTD. 135 MILNER AVE., SCARBOROUGH, ONTARIO M1S 3R1, CANADA
YAMAHA ELECTRONIK EUROPA G.m.b.H. SIEMENSSTR. 22-34, 25462 RELINGEN BEI HAMBURG, GERMANY
YAMAHA ELECTRONIQUE FRANCE S.A. RUE AMBROISE CROIZAT BP70 CROISSY-BEAUBOURG 77312 MARNE-LA-VALLÉE CEDEX02, FRANCE
YAMAHA ELECTRONICS (UK) LTD. YAMAHA HOUSE, 200 RICKMANSWORTH ROAD WATFORD, HERTS WD18 7GQ, ENGLAND
YAMAHA SCANDINAVIA A.B. J Å WETTERGRENS GATA 1, BOX 30053, 400 43 VÄSTRA FRÖLUNDA, SWEDEN
YAMAHA MUSIC AUSTRALIA PTY, LTD. 17-33 MARKET ST., SOUTH MELBOURNE, 3205 VIC., AUSTRALIA

YAMAHA CORPORATION
Printed in Japan ◀ PMT-L71/H75-2